

盛岡地区かわまちづくり北上川ワークショップ

市民からの提案書【概要版】



平成23年2月

目次

1. 「市民からの提案書」の位置づけ	1
2. かわまちづくりに対する市民からの提案	3
3. ワークショップの記録	7

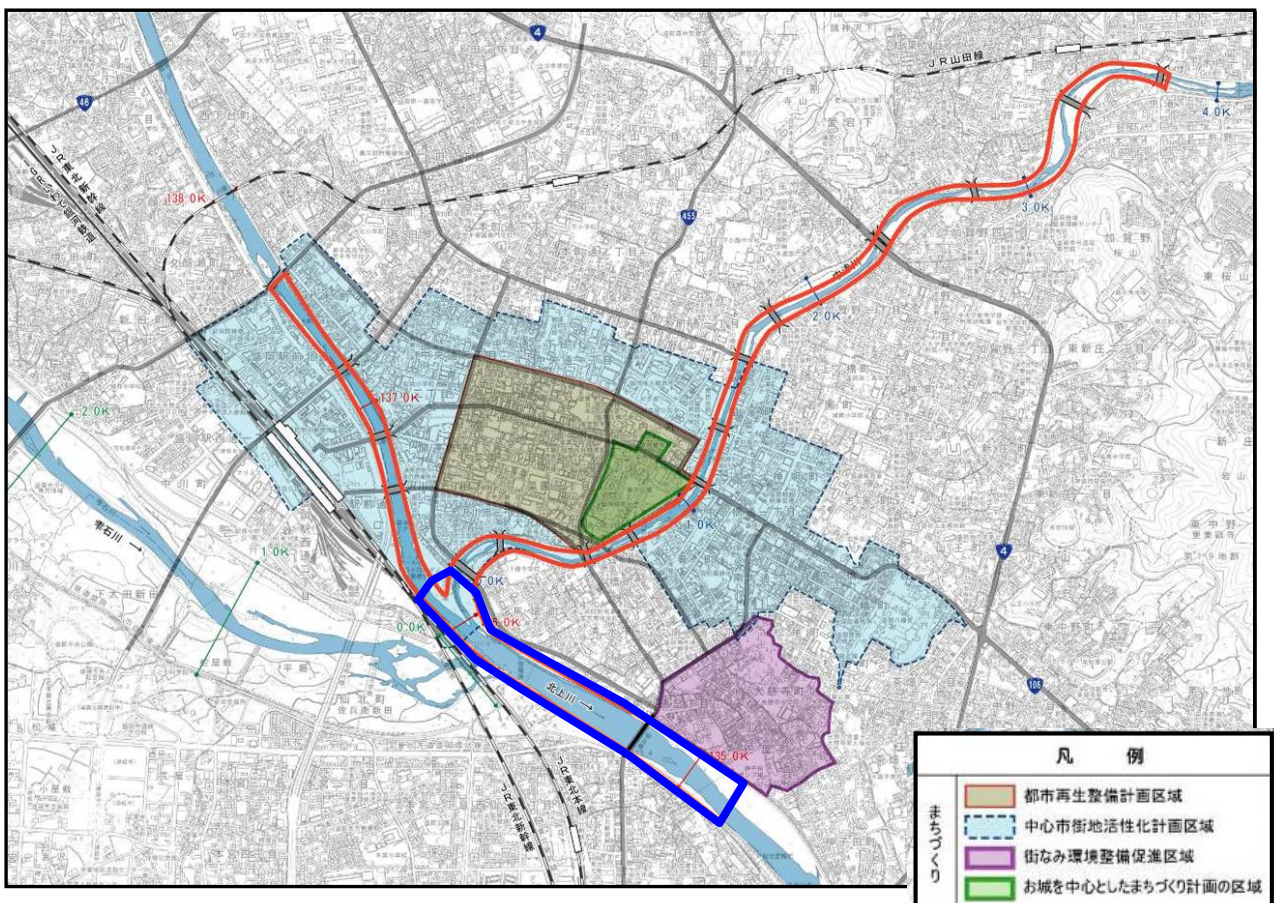
1. 「市民からの提案書」の位置づけ

本「市民からの提案書」(以下、提案書という。)は、『盛岡地区かわまちづくり計画』の実現に向け、下図に示す北上川三川合流地点～明治橋下流を対象に、具体的な施設整備や市民の参画・役割分担のあり方についてワークショップで議論した結果をとりまとめたものです。

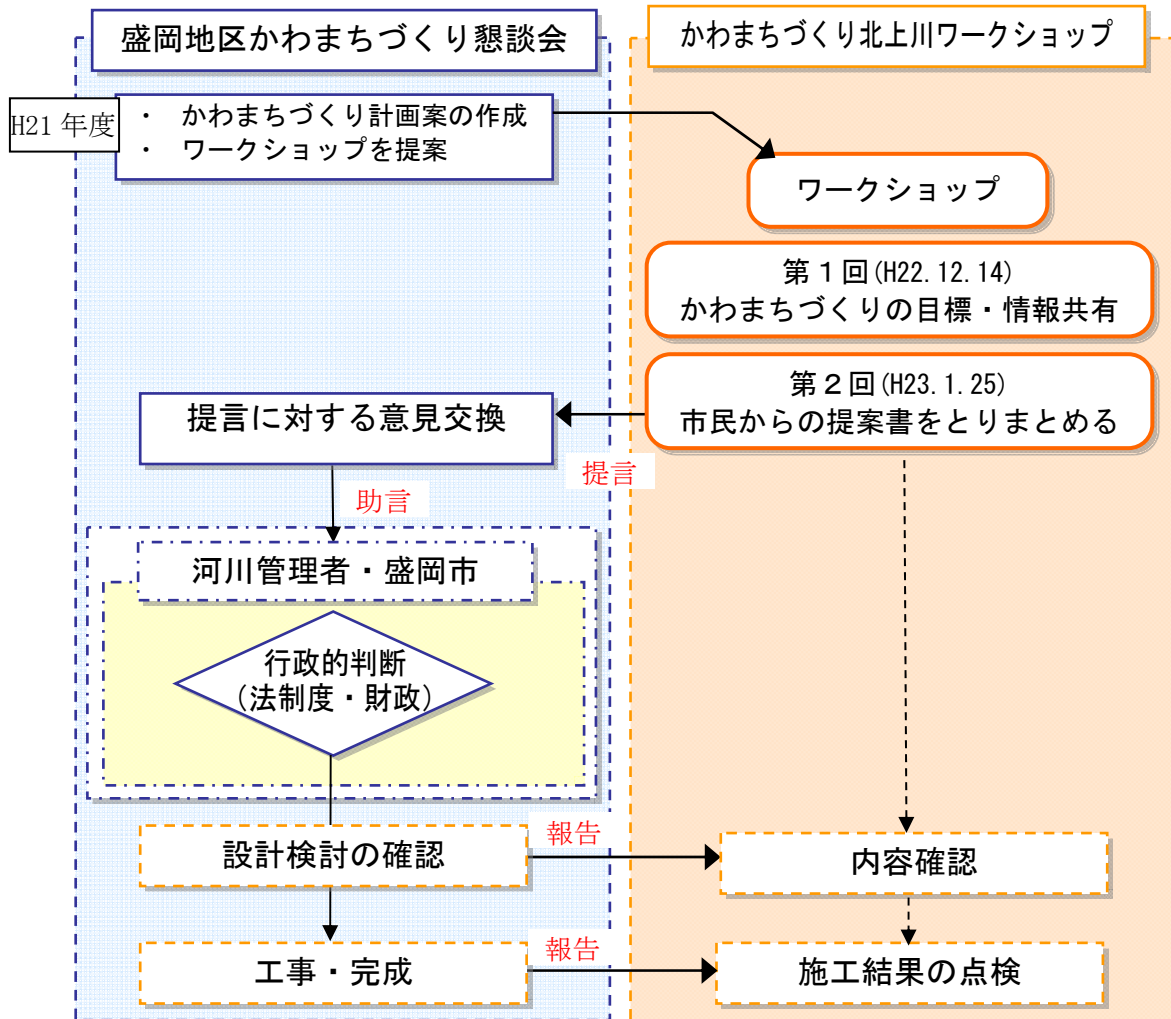
今後の円滑な盛岡地区かわまちづくりの推進のため、本提案書をかわまちづくり懇談会に提言します。

【盛岡地区かわまちづくりワークショップ検討範囲】

- 盛岡地区かわまちづくり検討範囲
- 本提案書検討範囲：北上川（三川合流地点～明治橋下流）



【懇談会とワークショップとの関係フロー】



<第1回：かわまちづくりの目標・情報共有>

- テーマ：① 街並みと調和した護岸の維持・補修について
 ② まちと川とを結ぶアクセス整備について
 ③ その他

<第2回：計画をとりとめる>

- テーマ：・検討案について
- ①街並みと調和した護岸の維持・補修について
 - ②まちと川とを結ぶアクセス整備について
 - ・市民からの提案書(素案)について
 - ①ひと・かわ・まちの連携について
 - ②かわとまちの自然環境の保全・活用について
 - ③かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用について
 - ④かわとまちを結ぶ連携空間の創出について

2. かわまちづくりに対する市民からの提案

■提案1 (ひと・かわ・まちの連携)

①多様な参画に向けた仕組みづくりについて

- ・北上川が盛岡市民のふるさとの川として、子供が遊べる場、お花見、観光スポットとなるよう多様な利用が行える川づくりを望みます。
- ・鉤屋町・大慈寺町のまちづくりと連携して、かわとまちの活動の場が広がることを望みます。

②水辺・水面利用について

- ・カヌーの利用や屋形船を浮かべるなどの水辺・水面利用を図り、かつての舟運の歴史が感じられる川づくりを望みます。

■提案2 (かわとまちの自然環境の保全・活用)

③自然環境の保全・活用について

- ・生物多様性に配慮した川づくりを基本として、工事をする場合は現状の生物の生息環境の保全に配慮してください。
- ・川岸に木陰になる木がほしい。桜並木の整備を望みます。

④中州の整備について

- ・中州は大きくなりすぎているので、かつての流れを感じられるように一部掘削、繁茂した樹木の伐採等の管理について適切な措置を講じてください。
- ・中州を保全する場合は、子供が安全に環境学習できる場として活用することを望みます。

■提案3 (かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用)

⑤新山河岸・新山舟橋の復元について

- ・新山河岸は北上川の舟運の起点として歴史的な意義のある重要拠点であることから、昔の面影を残すような整備を望みます。
- ・新山船橋の再現を望みますが、イベントなどで渡れるような取り組みを検討していきます。
- ・現代版舟橋八景の設定を望みます。

⑥歴史的街並みとの調和・連携について

- ・鉤屋町・大慈寺地区の歴史街並みと連携し、盛岡市の観光資源として水辺と一体的なまちづくりを目指してください。

⑦街並みと調和した護岸の補修（修景）について

- ・盛岡の玄関口にふさわしく、街並みとの調和に配慮し、石張りではなく石積護岸を望みます。**【本意見を反映させた場合の整備イメージ1参照】**
- ・パラペットは、できるだけ低く、薄くすることで、堤防天端から北上川を望むことができるような構造を検討してください。
- ・パラペットをコンクリートとした場合は、表面処理や色彩に配慮して、護岸との調和に努めてください。

■提案4（かわとまちを結ぶ連携空間の創出）

⑧まちと川を結ぶアクセスについて

- ・御蔵前付近にある急勾配の階段を改良し、安全に水辺に降りられる階段の整備を望みます。**【本意見を反映させた場合の整備イメージ2（下段）参照】**
- ・堤防天端道路が狭く、また交通量も多いことから水辺に近づきにくいので、その解消について検討してください。

⑨水辺の遊歩道について

- ・中津川から御蔵まで結ぶ遊歩道の整備を望みます。その際、できる限りスロープにするなど、だれもが利用しやすい構造となるように検討してください。
【本意見を反映させた場合の整備イメージ2（上段）参照】

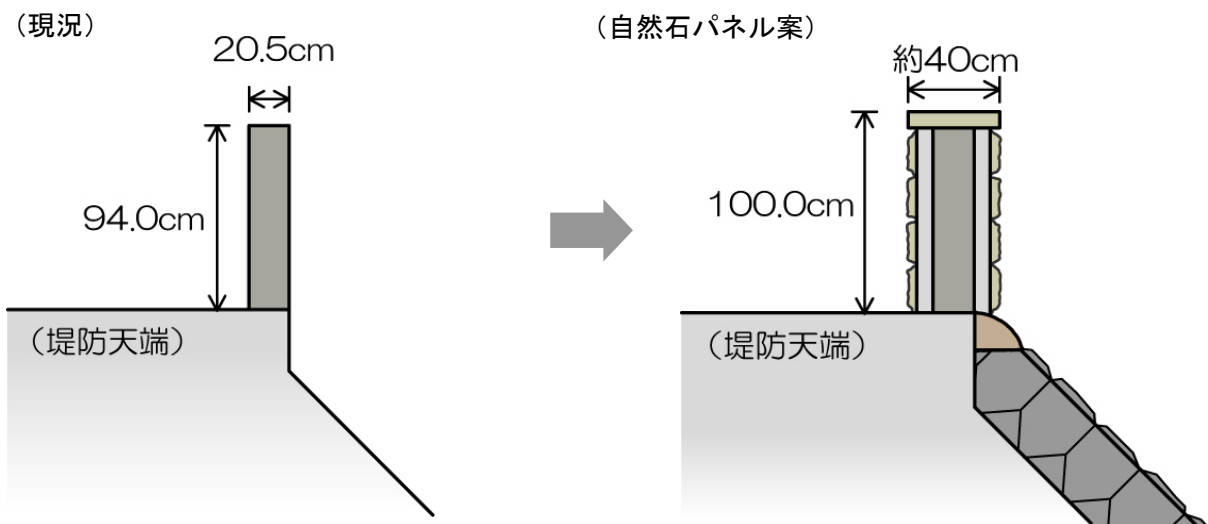
【整備イメージ1：街並みと調和した護岸の維持・補修(修景)について】



現況の護岸



整備イメージ：自然石積護岸とする。パラペットは、自然石パネルとして石積護岸との調和を図る。



※ 整備イメージは、今後詳細検討の結果によっては、変更することがあります。

【整備イメージ2：まちと川を結ぶアクセス整備について】



現況：明治橋上流



整備イメージ：盛土して散策路を延伸する



現況：明治橋下流(御蔵前付近)



整備イメージ：緩やかな(1:2)勾配の階段を設置する

※ 整備イメージは、今後詳細検討の結果によっては、変更することがあります。

3. ワークショップの記録

1) 主な提案(市民のアイデア)と、その対応(行政からの回答)について

提案1 ひと・かわ・まちの連携の再構築について

主な意見	対応について
<p>①多様な参画に向けた仕組みづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふる里の川」と言える川に。 ・ 世界遺産(世界に誇れる盛岡のかわまちづくりを目指す)。 ・ 子供が遊べる川。子供達と釣りができる川。 ・ 所々に浅瀬があり、親水遊びが出来る川。 ・ 三川合流点には豊かな自然が残っており、観光スポットとなる。 ・ ①演劇発表できる川。②読書、ひなたぼっこー階段。③子供会活動。④キャンプファイヤー。⑤市場開設。⑥季節毎の屋台。⑦観光舟。 ・ お花見(桜)のできる川。野の花、野草が楽しめる。 ・ バーベキューの出来る場所が欲しい。 ・ 防火用水としての利用も考えてはどうか。 ・ 川魚の食文化が無い。例:①金沢のゴリ、②長野のウグイ(千曲川)、③新潟の村上のサケ、④会津檜枝岐のサンショウウオ。盛岡の人は鮎山排水のイメージが強く、川魚を食べない。 ・ 鉾屋町・大慈寺のまちづくりとの連携を図る。まちづくりの活動の場が川にも波及できれば良い。 <p>②水辺・水面利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋形舟を浮かべてはどうか。屋形船芸者付き。 ・ 舟運の歴史が感じられる川に。 ・ カヌーを出せるワンドとアクセス。 ・ 舟バース(新山河岸)。開運橋上流と結ぶ舟。カヌー下りをしている人がいる。駅と最短でつながる。 ・ せき止めて水面をプール代わりに活用する。 	<p>→北上川の歴史・文化を大切にしたい川づくりを進めていきます。 盛岡かわまちミュージアムの基本方針の一つに「かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用」を位置づけています。</p> <p>→多様な水辺利用の推進に向け、市民の方々と検討してきます。</p> <p>→まちづくりからの提案と連携した川づくりを検討していきます。</p> <p>→船等の水面利用は、周辺のまちづくりと連携しながら、利用・維持管理を含めて市民の方々と検討していきます。</p>

提案2 かわとまちの自然環境の保全・活用について

主な意見	対応について
<p>③自然環境の保全・活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性を持った川。 ・ 直線のない川。人工的になりすぎないことが大切。 ・ 明治橋下流は以前小魚がたくさんいた。工事の際、水辺をよく考えて欲しい。子供達が水遊び出来るように。 ・ 川魚が見られるようにする。タナゴの復活。 ・ 江戸時代に川をつけかえた河川跡なので湧水はあるはず。三川合流など、北上川に湧水を引き込むようにできないか。 ・ ホタルなどの生き物を増やしたい。 ・ サクラマスの遡上にも注目(四高前)。 ・ かつて北上川は真っ赤な川・気持ち悪い川がイメージだったが今はきれいな川になった。 ・ 川岸に木陰になる木が欲しい。木陰で休める川。 ・ 既存の柳の木は良い。 ・ 桜の木を植える時は、八重桜。新幹線、雫石橋上、明治橋方向に河川敷に桜の並木がほしい。 ・ 下流部、上流部、杉の復活、並木。 <p>④中州の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眺望を考慮すべき。中州の整備。中州を取って川の流れが見える川。 ・ できれば木を切って、元の流れに戻していただきたい。 ・ 中州にサイカチ、クワ、クルミ、花、実のなる木を残している。環境学習に活かしたい。 ・ 子どもが遊べるような中州の環境整備をしたい。 ・ 中州を雪捨て場として利用できないか。 	<p>→懇談会等で意見を聞きながら、自然環境に配慮した河川整備を実施していきます。</p> <p>→河道内の植栽は洪水時の流下断面の阻害や流木などの原因となりますので、河道内の植栽基準に則り、適切な樹林の管理、植栽を実施していきます。</p> <p>→中州はできる限り撤去の方向で検討していきます。</p> <p>→中州を雪捨て場とする場合、車両の進入が必要ですが、現状のアクセス条件を考慮すると現実的に難しいと考えます。</p>

提案3 かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用について

主な意見	対応について
<p>⑤新山河岸・新山舟橋について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新山河岸復元・新山舟橋復元。 ・ 御蔵からの船着場を再現!! ・ イベント的にワイヤーを張って渡れるようにしたい。 ・ 旧明治橋(舟橋の再現)、出来るような工事をして欲しい。 ・ 今年になって明治橋たもとに江戸時代、舟橋があったと聞きました。その風景が全て感じられなくて残念です。 ・ 舟運の基点の場所、歴史的意義のある重要拠点であったエリアを活かす。 ・ 北上川舟運の地(舟着場)、新山河岸の場の整備。 ・ 新山河岸は昔の面影を残すような整備を検討してもらいたい。 ・ 新しく八景現代版を設定してはどうか。 ・ 舟橋八景(岩鷲山の暮雪、多田羅山の秋月、安庭の青嵐、沢田の落雁、北上川の帰帆、高島の夜雨、円光寺の晩鐘、舟橋の夕照、碑が欲しい)。 <p>⑥歴史的街並みとの調和・連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 御蔵・明治橋碑付近の整備。道路の問題もある。 ・ 舟橋跡右岸にも史跡としての説明板などが欲しい。奥州道中、歴史を知る。 ・ 鉦屋町・大慈寺町地区の歴史まちづくりに似合うものを造り観光資源に。 ・ 川沿いの建物に合った川づくりを望む。 ・ 北上川と岩手山が美しく見える景観。 	<p>→船橋の復元は、治水安全性、維持管理上、舟橋の整備実現は困難ですが、市民の方々が主体となって一時的な復元(イベントなど)は考えられます。</p> <p>→河岸の復元は、周辺のまちづくりと連携しながら、利用・維持管理を含めて市民の方々と検討していきます。</p> <p>→街なみ環境整備事業と連携し、市民の方々と検討していきます。</p>

主な意見	対応について
<p>⑦街並みと調和した護岸の補修(修景)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡の玄関口、街並みに合った修景が望まれる。 ランドシャフトのよい川(心地よい川)。 カメラスポットとなる川。 川から見て美しい橋にしたい。コンクリート護岸目立つ。 新幹線から見るとコンクリート護岸でがっかり。新幹線からの眺めを意識する。 古いコンクリート護岸はそれなりに街並みと調和している。 自然石(石積)がよい。 護岸に石を貼るのはやめる(にせものになる。本物で)。 堤防天端から子供でも川が見やすいようにパラペットの高さ、厚みなど考慮してほしい。 パラペットをコンクリートとした場合は、表面の処理や色など石積と調和させてほしい。 緩やかな勾配の護岸(1:3.0~1:5.0 ぐらい)。 コンクリートの見えない護岸。 コンクリートの護岸を草が生える土手に。 護岸に市民から公募した絵を飾る(ラッピング)。 堤防のデザインは公募してみたい。 	<p>→盛岡の玄関口としてふさわしい修景方法についてはワークショップで引き続き検討します。</p> <p>→コンクリート護岸の補修・修景についてはワークショップで引き続き検討していきます。</p> <p>→石積みの修景方法については、不自然な仕上げにならないよう留意します。</p> <p>→治水上、現状のパラペットを低くすることはできません。できる限り現状の高さ、厚みなどを考慮し、堤防天端からの眺望に配慮した構造について検討していきます。</p> <p>→緩やかな勾配の護岸は、川の流下断面を小さくすることから、治水安全性の確保上不利な案です。また、高水敷が狭くなり、遊歩道利用への影響も考えられます。</p>

提案4 かわとまちを結ぶ連携空間の創出について

主な意見	対応について
<p>⑧まちと川を結ぶアクセスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 階段が急なので緩くしたり、スロープにしたりすると良い。車椅子でも降りられるスロープ。 明治橋下流(御蔵付近)は階段を設置する。 ユニバース付近の陸閘の統合に伴い、階段を1つ設置してもらいたい。 鉾屋町側から北上川へのアクセスを良くしたい。 まちとのつながり。特に管理道路の整備・歩道、道路(拡幅)は重要(明治橋下流)。 堤防道路が狭いこと、交通量が多いことを懸念している。 ユニバース付近は、地下道方式でアクセスできないか。 <p>⑨水辺の遊歩道について</p> <ul style="list-style-type: none"> 中津川から御蔵まで遊歩道をつなげる。明治橋下流の段差は、盛土により整備し、散策路を延伸させる。 川を見ながら歩く連続した道。 自転車道の整備、連続性・走行性に配慮する。 川沿いの散策路は歩きやすくて良い。現状のままで良い。 散策路を延長する。明治橋→南大橋まで。 	<p>→適切な場所を考慮し、安全に河川利用ができるように階段の整備を検討していきます。</p> <p>→街なみ環境整備事業と連携し、市民の方々と検討していきます。</p> <p>→地下道方式は治水安全性、経済性等を考慮すると現実的には難しいと考えます。</p> <p>→明治橋下流に延伸する遊歩道については、中州の利活用と併せて市民の方々と検討していきます。</p>

2) ワークショップ議事録

<第1回>

日 時：平成22年12月14日（火）18：30～21：00

場 所：盛岡市勤労福祉会館 4階 401・402 会議室

参加者：22名（3グループ）

テーマ：① 街並みと調和した護岸の維持・補修について

② まちと川とを結ぶアクセス整備について

③ その他



<第2回>

日 時：平成23年1月25日（火）18：30～21：00

場 所：盛岡市勤労福祉会館 4階 401・402 会議室

参加者：11名（2グループ）

テーマ：・検討案について

①街並みと調和した護岸の維持・補修について

②まちと川とを結ぶアクセス整備について

・市民からの提案書(素案)について

①提案書の内容・構成について

②4つの提案について

1) ひと・かわ・まちの連携について

2) かわとまちの自然環境の保全・活用について

3) かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用について

4) かわとまちを結ぶ連携空間の創出について

